

愛知東邦大学 シラバス

| | | | |
|--------------------|--------|-----------------------------|----|
| 開講年度(Year) | 2024年度 | 開講期(Semester) | 前期 |
| 授業科目名(Course name) | 基礎演習Ⅰ | | |
| 担当者(Instructors) | 西尾 敦史 | 配当年次(Dividend year) | 1 |
| 単位数(Credits) | 2 | 必修・選択(Required / selection) | 必修 |

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

基礎演習Ⅰでは、大学というもの、そして大学で学ぶということを理解した上で、4年間の充実した大学生活を送るために、その基本となる学習活動の基本を身につける。この科目では、大学での講義の受け方、話し方・聴き方のような基礎学力の向上を目指した取り組みを行う。また、演習（ゼミ）の学生相互の経験交流や意見交換をとおして、お互いを知り、学び合う関係づくりを行う。

■授業形態・授業の方法(Class form)

| | |
|---------------------|--|
| 授業形態(Class form) | 演習 |
| 授業の方法(Class method) | 演習形式で行う。授業の内容に応じて、ディスカッション、プレゼンテーション、グループワークを取り入れ、学生相互の経験交流や意見交換をとおして、お互いを知り、学び合う関係づくりを行う。 |

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

| 回数(Num) | テーマ(Theme) | 内容(Contents) | メディア区分(Media) |
|---------|---------------------------------|---|---------------|
| 第1回 | ゼミガイダンス、学生用ページの説明 | 基礎演習のねらいの確認。学生用ページの情報・使い方について理解する。学内ツアーに参加する。 | □ |
| 第2回 | スタディ・スキル「大学生活について」「受講の心得」「自己紹介」 | 資料に基づき、「大学生活とは」「受講の心得」を学ぶ。また、自己紹介について学び、聞いた人が話しかけたい自己紹介の練習をする。(テキスト第0章) | □ |
| 第3回 | 「SNSのマナー」について(メディアリテラシーについて) | 「SNSのマナー」についての内容を扱いながら、メディアリテラシーについて学習する。 | □ |
| 第4回 | 学術情報センターガイダンス | 学術情報センター(図書館等)のマナーについて学ぶ。(テキスト第7章) | □ |
| 第5回 | スタディ・スキル「テキストの読み方1」 大学で読む文章 | 資料に基づき、「テキストの読み方 大学で読む文章」を学ぶ。新聞記事の読み書きを練習する。(テキスト第2章) | □ |
| 第6回 | スタディ・スキル「テキストの読み方2」 学術的な文章 | 資料に基づき、「テキストの読み方 学術的な文章」を学ぶ。あわせて学術的な文章の理解のために、要約の練習をする。(テキスト第3章) | □ |
| 第7回 | スタディ・スキル「資料の探し方」 | 資料に基づき、「資料の探し方」を学ぶ。本、雑誌論文、新聞記事、統計資料の検索の方法、インターネットの活用を練習する。(テキスト第6章) | □ |
| 第8回 | レクリエーション大会 | スポーツを通じた交流・レクリエーション・仲間づくりを行う。 | □ |
| 第9回 | スタディ・スキル「レポートの準備と作成」①構成 | 資料に基づき、である調で書くこと、感想文とレポートの違い、3部構成で書く練習をする。(テキスト第4章) | □ |
| 第10回 | スタディ・スキル「レポートの準備と作成」②参考文献 | 資料に基づき、参考・引用の仕方、参考文献の記載方法について書く練習をする。(テキスト第4章) | □ |
| 第11回 | スタディ・スキル「レポートの構想と作成」 | 資料に基づき、レポートの構想、作成の手順について学ぶ。(テキスト第5章) | □ |
| 第12回 | スタディ・スキル「レポートの作成と振り返り」 | 資料に基づき、レポートの作成について学び、テーマに基づいてレポートを執筆し、振り返る。(テキスト第5章) | □ |
| 第13回 | スタディ・スキル「パソコンスキルズ」 | 資料に基づき、「パソコンスキルズ」を学ぶ。主としてワード、エクセルの活用方法を練習する。(テキスト第II部) | □ |
| 第14回 | スタディ・スキル「大学の試験と評価」 | 資料に基づき、「大学の試験と評価」を学ぶ。定期試験、レポート試験に向けた心構え、準備について学ぶ。(テキスト第10章) | □ |
| 第15回 | スタディ・スキルズのふりかえり・まとめ | 演習全体をふりかえり、これまでにおこなった課題からまとめテストを行う。 | □ |

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

毎回のゼミ運営で、与えられたテーマについての早期準備に取り組む(2時間)。提出期限までに課題を提出できるように、事前事後学習を行う(2時間)。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回の授業にて前回提出された課題（スタディスキルズ、レポート等）についての復習を行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

| 区分(Division) | DP区分(DP division) | 内容(DP contents) |
|--------------|-------------------|--|
| 知識・技能 | ◇ 2019全学共通DP1 | スタディスキルズの学習を通して、学びの基礎となる社会、文化、自然等に関連する幅広い知識を習得しながら専門知識を育み、それを活用することができる。 |
| 思考力・判断力・表現力 | ◇ 2019全学共通DP2 | スタディスキルズの学習を通して、幅広く思考し、多面的な判断の上、自分の考えを発信できる。 |
| 主体性 | ◆ 2019全学共通DP3 | スタディスキルズの学習を通して、多様な人びとと協働し、地域とつながり地域社会の活性化・発展に貢献できる。 |

■成績評価(Evaluation method)

| 筆記試験(Written exam) | 実技試験(Practical exam) | レポート試験(Report exam) | 授業内試験 (in-class exam) | その他(Other) |
|--------------------|----------------------|---------------------|-----------------------|------------|
| | | | 20% | 80% |

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

課題に対する提出物80%(スタディスキルズ、レポート、感想など)、まとめのふりかえりテスト(授業内)20%

■テキスト(Textbooks)

| No. (No.) | テキスト名など(Text name) | ISBN (ISBN) |
|-----------|------------------------------------|----------------|
| 1 | 世界思想社編集部 編「大学生 学びのハンドブック 6訂版」世界思想社 | 978-4790717911 |
| 2 | | |
| 3 | | |
| 4 | | |
| 5 | | |

■参考図書(references books)

| No. (No.) | テキスト名など(Text name) | ISBN (ISBN) |
|-----------|--|-------------------|
| 1 | 長尾佳代子・村上昌孝『大学1年生のための日本語技法』ナカニシヤ出版 | 978-4-7795-0902-5 |
| 2 | 鎌田美千子・仁科浩美『アカデミック・ライティングのためのパラフレーズ演習』スリーイーネットワーク | 978-4-88319-681-4 |
| 3 | | |
| 4 | | |
| 5 | | |